

# 政策科学シンポジウム 新時代「令和」を展望

## 平成の経済、政策を検証

大学院経済学研究科「」が10月30日、神田キャンパスで開かれ、約90名が参加した。外部の専門家2氏と経済学研究科の2教員が、平成の経



平成の日本経済を総括したパネル討論

基調講演した大正大学地域創生学部長の小峰隆夫氏(日本経済研究センター理事)はバブル崩壊以後の平成時代の経済状況、政策の意義や問題点、課題について具体的に論じた。

パネル討論は鈴木将寛教授が司会・進行役を務め、みずほ総研チーフエコノミストの長谷川克之氏、田中隆之、中村吉明両教授が短く講演した。小峰氏を交えて議論した。

長谷川氏は「日本を取り巻く金融、政治環境がグローバルに変化してきている。米中の中で日本が果たすべき役割は大きい」と令和時代の展望を話した。

田中教授は平成時代を振り返り「低成長、物価低迷、官民ともに負債が拡大、経済構造が変化し」と指摘。中村教授は「日本企業の国際競争力の低下をさまざまなデータから明らかにした。『日本全体に受容性がなくなっている。新しい産業政策が必要な時代になってきている』と提言した。

田中教授は「日本を取り巻く金融、政治環境がグローバルに変化してきている。米中の中で日本が果たすべき役割は大きい」と令和時代の展望を話した。

田中教授は平成時代を振り返り「低成長、物価低迷、官民ともに負債が拡大、経済構造が変化し」と指摘。中村教授は「日本企業の国際競争力の低下をさまざまなデータから明らかにした。『日本全体に受容性がなくなっている。新しい産業政策が必要な時代になってきている』と提言した。

田中教授は平成時代を振り返り「低成長、物価低迷、官民ともに負債が拡大、経済構造が変化し」と指摘。中村教授は「日本企業の国際競争力の低下をさまざまなデータから明らかにした。『日本全体に受容性がなくなっている。新しい産業政策が必要な時代になってきている』と提言した。

田中教授は平成時代を振り返り「低成長、物価低迷、官民ともに負債が拡大、経済構造が変化し」と指摘。中村教授は「日本企業の国際競争力の低下をさまざまなデータから明らかにした。『日本全体に受容性がなくなっている。新しい産業政策が必要な時代になってきている』と提言した。

## 産業と社会の変革考察

### 大学院公開講座

大学院公開講座PAR「成熟社会における企業・地域が育むイノベーション」が11月8日から29日まで、計4回にわたって神田キャンパスで開かれた。経済学研究科の企画。AI(人工知能)やビッグデータを活用するビジネスで社会生活に大きな影響が起きている。講座では、産業と社

この後、李春霞助教が、特許の出願・登録件数など膨大な統計データを分析した結果をもとに、日本企業のイノベーションを明らかにした。

この後、李春霞助教が、特許の出願・登録件数など膨大な統計データを分析した結果をもとに、日本企業のイノベーションを明らかにした。

この後、李春霞助教が、特許の出願・登録件数など膨大な統計データを分析した結果をもとに、日本企業のイノベーションを明らかにした。

この後、李春霞助教が、特許の出願・登録件数など膨大な統計データを分析した結果をもとに、日本企業のイノベーションを明らかにした。



専修大 経済学部 李春霞助教

専修大 経済学部 李春霞助教

専修大 経済学部 李春霞助教

## 韓国檀国大と合同研究会

### 社研と経営研

国際交流協定の韓国檀国大学と専修大学社会科学研究所(宮崎晃臣所長)、経営研究所(小沢一郎所長)との合同研究会が11月9日、神田キャンパスで開催された。

研究会が11月9日、神田キャンパスで開催された。統一テーマは「日本と韓国における経済デモクラシー」。檀国大からチエ・チャンファン教授、ジョン・スジョン教授、

研究会が11月9日、神田キャンパスで開催された。統一テーマは「日本と韓国における経済デモクラシー」。檀国大からチエ・チャンファン教授、ジョン・スジョン教授、



出席した両大学のメンバー

## 社研70周年 講演会開催 &書籍刊行

社会科学研究所(社研)が今年11月15日「企業のイノベーション」自動車をテーマとして、

社会科学研究所70周年記念講演会(第1部)が11月15日、専修大学の新制大学移行と同時に社会科学研究所が誕生した。経済学及びこれに関する諸科学の総合

社会科学研究所70周年記念講演会(第1部)が11月15日、専修大学の新制大学移行と同時に社会科学研究所が誕生した。経済学及びこれに関する諸科学の総合

## 最終講義のご案内

(12月12日現在)

伊吹克己 文学部教授  
福島義和 文学部教授  
近江吉明 文学部教授

1月11日(土)13時05分  
1月17日(金)14時50分  
2月15日(土)16時

神田102教室  
生田10214教室  
生田「蒼翼の間」

本年度末で12教員が定年退職されます。最終講義を行うのは次の方々です。どなたでも受講できます。

## 専修人の新しき本

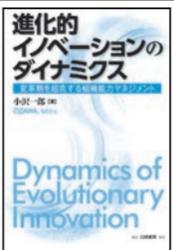


菅原光共訳

幕末から明治期に活躍した哲学者・西周が発明した数多くの学術用語には、我々は思考をめぐらすことすら難しい。「哲学の父」とも称される西周が我々に与え続けている学問上の恩恵は計り知れないのだが、その文章を読んだことがある現代人は多くはない。母国の偉大な哲学者の文章に触れることがないという、諸外国では珍しい現

彼が著した古い文章は現代人には読解困難だし、「全集」は絶版となつて久しいのだから、それもやむを得ないことであらう。

日本思想に関心を持つ一般読者に向けてリーズナブルなテキストを提供する必要があるのではないかと、西周が著した文章をできるだけ平易な現代日本語に翻訳して出版するという本書の試みは、そのような問題意識に基づいたものである。(慶應義塾大学出版会・本体2500円十税) 著者(すがわら・ひかる) 法学部教授。日本政治思想史。



小沢一郎著

組織の盛衰はなぜ起きるのか? 本書では、その一要因となる「進化的イノベーション」への対応の様相を切り口として、そのダイナミクスを解き明かしていく。そして、そこから見えるイノベーションのフェーズごとに、組織側の継続的顧客戦略策定のヒントをまとめる。さらに、こ

の戦略を実行可能とするために、組織を動かす組織能力の在り方とそのマネジメントへと議論を展開していく。 本書は研究書でありながら、その目的として実務家の皆様への貢献を挙げている。それは、著者自身が25年間の実務家経験を基に、研究と実務との橋渡しを願って執筆を続けたものだからである。(白桃書房・本体3545円十税) 著者(おざわ・いちろう) 経営学部教授。経営戦略論、イノベーション論、経営組織論。